

1. 事業の位置付け

事務事業名	女性に対する人権尊重事業		
事業担当	市民部 人権・男女共同参画課		
予算科目	01-030106-240000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	03	3 男女共同参画意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	相談者	事業期間	平成19年度～平成28年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
相談者の不安や悩みが解消され、相談者が自分自身で解決の方向が決められるようになっています。		女性の不安や悩みを解決に導くため、相談窓口を開設します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	相談窓口開設日数						単位	日
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			243	243	243			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	相談件数						単位	件
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			560	620	620			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
相談窓口を246日開設し、664件の相談（来室相談227件、電話相談437件）を受け、女性の不安や悩みの解決に結びつけることができた。 664件のうち、DV相談は155件、外国人からの相談は32件あった。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国の最重要課題として位置づけられている男女共同参画施策に関する事業であり、必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	相談者の問題解決を図るうえで、非常に有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	法律に基づき策定した市の男女共同参画計画において位置づけている事業であり、妥当性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	相談者のニーズに十分対応でき、且つ、多くの市民の相談を受けることができるよう効率性の向上を図る必要がある。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

平成19年度に相談希望者への即時対応できなかった件数は352件であった。今後、相談時間配分の工夫により効率性の向上を図るとともに、相談需要に迅速かつ円滑に応じられる相談体制の整備が課題である。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				相談窓口の開設、 法律相談会の開催	相談窓口の開設、 法律相談会の開催	相談窓口の開設、 法律相談会の開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	4,935	5,120	5,005	0	0
事業費 (A)		0	0	4,935	5,120	5,005	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	98.76				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.20	0.80	0.80	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	1,679	6,713	6,713	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	6,614	11,833	11,718	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性

○現状の規模で継続 ●拡大して継続 ○縮小して継続 ○廃止 ○休止 ○終了 ○他事業と統合

<判断理由>

法律に基づき策定した市の男女共同参画計画に位置づけている事業であり、引き続き実施していくが、相談需要に十分に対応できる体制整備に努める。

平成21年度取組方針

相談の質を維持したうえで相談時間を短縮することには限界があるため、相談需要に十分対応できるよう相談員を増員して事業運営にあたる。

課長コメント

増加傾向にある女性相談に対応するための体制づくりをしていく必要があるが、財政面等で困難な部分は関連各課との連携を強化することで補っていきたい。